

令和元年度 磐田市立岩田小学校 学校評価書

*「A=かなり当てはまる B=まあ当てはまる C=あまり当てはまらない D=ほとんど当てはまらない」として各自が評価

重点	目標・取組	評価指標(教師側の表現)	自己評価	A+Bの%	考察・改善策	学校関係者評価委員から	備考
学び合う子	☆子ども同士が学び合う授業 ☆聴く力の育成 「授業の内容が分かる」95% 「分からないことをそのままにしない」90%	1 子どもは、授業の内容がよく分かっている。	児童 保護者 教員	98 86 91	○「分からないことをそのままにしない」ためには、分からないことを「わからない」と素直に言える教師の学級づくりが大切である。同時に「分からないこと」は「学びのチャンス」でもある。友達や教師とともに解決していく楽しさや、分かるようになるうれしさを感じ取ることができるような授業を進め、自信をもって自分の考えを発表することができる子どもたちを育てていく必要がある。 ○「自信をもって自分の考えを発言する」子供の数値が昨年度より下がっている。来年度から実施される新しい学習指導要領でも、主体的・対話的で深い学びを通して、学びの質を高める授業改善が求められている。子供同士の「聴き合う」「学び合う」関係づくりは、学級づくりとも関連があるが、子供の「伝えたい」「言いたい」という意欲を高めるためには、日頃の授業をいかに充実させるかが鍵となる。そのために教師自身もより授業改善に取り組まなければならない。	・友達と学び合い、課題を解決していく学習をととして、新しい学習指導要領で求められていく力を育てていくことについては、重要なことである。一方、基礎基本の定着・確実に身に付けさせたいことについては、しっかり力を付けてもらいたい。 ・学力の二極化が心配されるので、特に低位の子の底上げを図る指導を大切にしたい。	磐田市 共通
		2 子どもは、授業が楽しいと思っている。	児童 保護者 教員	93 90 82			磐田市 共通
		3 子どもは、分からないことをそのままにしないで、教師に聞いたり、自分で調べたりして解決している。	児童 保護者 教員	88 66 55			磐田市 共通
		4 子どもは、自信をもって自分の考えを発言している。	児童 保護者 教員	76 75 91			磐田市 共通
		6 子どもは、外国語活動の授業が楽しいと思っている。	児童 保護者 教員	95 91 100			磐田市 共通
		7 自分は、個に応じた細かな支援・指導をしている。	児童 保護者 教員	98 94 100			
		笑顔いっぱい 夢いっぱい 仲良く助け合う子	☆自己肯定感の向上 「自分のよさを1つ言える」80% 「友達のよい行いに気付き、自分もやろうとした」90%	8 子どもは、学校に楽しく通っている。			児童 保護者 教員
9 学級や学校には、お互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	児童 保護者 教員			98 92 91	磐田市 共通		
10 子どもには、学校に相談できる人がいる。	児童 保護者 教員			96 92 91	磐田市 共通		
11 子どもは、自分の良さを1つ以上言うことができる。	児童 保護者 教員			93 93 100			
12 子どもは、家庭や地域で進んであいさつをしている。	児童 保護者 教員			98 85 100			
13 子どもは、友達の良さに気付き、自分も取り入れようとしている。	児童 保護者 教員			93 87 82			
14 自分は、子どものことを理解し、指導にあたっている。	児童 保護者 教員			95 96 100	磐田市 共通		

心も体も健やかな子	<p>☆目標に向けては、<u>強い運動する態度の育成</u></p> <p>☆自分で判断し、健康で安全な生活を送ることができる子の育成</p> <p>「自分に合った目標を立て、運動に取り組めた」90%</p> <p>「自分に合った目標を立て、健康で安全な生活を送ることができた」90%</p>	15	子どもは、自分に合った目標を立て、運動に取り組んでいる。	児童 保護者 教員	93 85 100	<p>○本校は運動場に加え芝生広場もあり、運動をする環境がある。また、健康チェックを活用し、自分の体に関心をもつようになっている。その結果、子供たちは外遊びで一輪車や短縄跳び、ボール遊び等、運動に親しんでいる。</p> <p>○本校が長年取り組んできた一輪車への取組を核としつつ、時期に応じた運動(水泳・持久走・短縄跳び等)を一年を通じて計画的に確実に行うことで、体力の向上や粘り強く運動する態度を育成していきたい。同時に、体育の時間には運動量の確保を念頭に置き、本校児童の課題である持久力の向上に力を入れていきたい。</p>	<p>・地域で遊ぶ子供の姿をあまり見掛けない。体を動かした遊びを大切にしたい。</p> <p>・地域の自然の中で遊ぶことも大事な経験であると思う。しかし最近は安全面の配慮が必要のため、難しいのが現状である。</p>	
		16	子どもは規則正しい生活を心掛けている。	児童 保護者 教員	94 86 100			
		17	子どもは、自分に合った目標を立て、健康で安全な生活を送っている。	児童 保護者 教員	95 87 100			
開かれた学校	<p>○信頼にこたえる</p> <p>・向陽学府小中一貫教育</p> <p>・コミュニティ・スクール(地域と目標・育ちを共有)</p>	18	子どもは、今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	児童 保護者 教員	86 68	<p>○「住んでいる地域の歴史や自然への関心」の項目で、児童の評価が低い。学習や活動が「岩田地区ならではの」であり、「岩田地区のよさ」につながることを、子供自身が実感できるような学習を続けていきたい。来年度は、縦割りグループで地域を巡る「岩っ子ウォーク」の再開を予定している。自分たちの住む地域の人・こと・施設等と関わることで、地域を知る活動も大切にしていきたい。</p> <p>○HPや学校便りで学校で目指そうとしている子供の姿や教育方針を伝えるようにした結果、保護者の評価が前年度より向上した。今後も積極的に情報を発信し、理解を得られるようにしていきたい。</p>	<p>・地域の人と人とのつながりがだんだん薄れてきていると感じる。また、孫が小学校にいない高齢者の世帯は、学校から聞こえる子供の声に元気をもらっている。学校を核として、今後もつながりを大切にしていきたい。</p>	磐田市 共通
		19	学校で目指そうとしている子どもの姿や教育方針について知っている。	児童 保護者 教員	89 92			磐田市 共通
		22	子どもは、「笑顔いっぱい 夢いっぱい」の子に育ってきている。	児童 保護者 教員	91 93 92			